

親園地区市政懇談会

日 時：平成30年7月12日（木）午前9時30分
会 場：親園農村環境改善センター



懇談テーマⅠ 安全・安心な地域社会に関するご意見

- ① 中学校の進入路の舗装の残り部分の早期着工について
- ② 大田原喜連川線改善センター前の交差点への横断歩道の設置について
- ③ 市道親園佐久山線の道路拡幅及び全面舗装について
- ④ 市道滝岡5号線の百村橋の架け替え及び道路拡幅と全面舗装について
- ⑤ 主要地方道大田原氏家線筋違橋付近丁字路のガードレールの改修について

《ご回答》

- ① 本年度は9月補正により中学校周辺を年度内に整備いたします。
- ② 横断歩道の設置等、交通規制に関しましては栃木県公安委員会が行うこととなっておりますので、大田原警察署に対しまして、横断歩道の設置を要望してまいります。
- ③、④ 道路の拡幅や橋梁の架け替えとなりますと、多額の費用が見込まれますことから早急な事業化は現時点におきましては、困難な状況であります。まずは、改修に着手している路線の早期完了を目指すとともに緊急性などを考慮しながら整備を推進してまいりたいと考えております。ただし、百村橋の改修については本年度手すりの設計に入りたいと考えております。
- ⑤ 本市道は通学路の指定がなされているため、歩行者の安全第一を考慮し改修してまいりたいと考えております。

懇談テーマⅡ 安全・安心な地域社会に関するご意見

日本特殊ガラス跡の土地、建屋および煙突にはかなりのダイオキシンが蓄積されていると思いますので、早期にダイオキシンの測定と煙突の撤去や建物の解体について

《ご回答》

日本特殊硝子工業株式会社の工場建物及び土地につきましては、これまで敷地の管理不全に対し、代表取締役あてに通知したところ宛先不在で返戻となっております。

煙突の倒壊の恐れがあるところのご指摘につきましては、煙突等の解体について市の顧問弁護士に相談したところでは、所有者に対する通知による指導以外にできないとの回答でありました。

また、ダイオキシン等の調査につきましても、同様に依頼をすることができない状態にあります。

本施設は、硝子製品の製造を行っていた際に使用していた煙突だと思われるので、規制の対象とはなっておらず、ダイオキシンが多量に蓄積されているとは考えにくい状況だと思っております。また、県が行っております大気汚染の常時監視でも、環境基準を超える結果は報告されておられません。

懇談テーマⅢ 高齢者対策・医療・福祉に関するご意見

行政区域の世帯数および人口が不正確であるため、データを分析しても正確な答えがでない。現状にマッチした統計処理と統計情報を出していただきたい。

《ご回答》

人口の捉え方には二通りありまして、住民基本台帳に基づく人口と国勢調査に基づく人口であります。二つの人口数値は併用して使用しておりまして、統計データとしては、市全体の数値は毎月人口を使用し、行政区別の数値は住基人口を使用して公表しております。自治会単位の人口、世帯につきましては、住民基本台帳で管理しておりませんので、毎年、市から各自治会に照会し、自治会加入世帯数のみを把握しているのが実情であります。

したがいまして、自治会単位の数値が必要な場合は、自治会独自の調査により把握して頂きますようお願いいたします。

懇談会でいただいたご意見

○百村橋の点検結果について

《ご回答》 点検結果は市HPで公表しています。

○オイル流出事件の自治会への連絡について

《ご回答》 事の大小に関わらず、第一に地元へ連絡する体制を取っていきたくと考えております。担当職員も県の職員と一緒に対応していたため、後手に回ってしまい、大変失礼いたしました。

○大田原喜連川線への「親園中入口」の看板の設置について

《ご回答》 設置を確認しませんでしたので、今年度内に設置いたします。

○通学路への優先的な除雪、融雪剤の散布について

《ご回答》 大田原喜連川線の除雪は入っていますが、荻野目 4 号線の山のところも優先的に実施したいと思っています。

○小学校の統廃合の現在の検討状況について

《ご回答》 当面は福原小と佐久山小が統合したいということで、説明会を予定しております。

○劣化した停止線の対応について

《ご回答》 丁字路なので、規制が必要なら市を通して大田原警察署、公安委員会に要望してまいります。破線でよければ、市が対応したいと思います。

○JR 野崎駅の橋上化について

《ご回答》 乗降人数が JR 側の基準である 3 千人に達していないため、地元要望で橋上化する場合には多額の費用が地元負担となります。野崎こ線橋通りの実施時期を見据えながら、中長期的な課題として取り組みます。

○消防操法協議会で優勝した消防団への補助について

《ご回答》 予算があることなので、検討させていただきます。

○火葬場の休憩スペースや共有スペースの狭さについて

《ご回答》 那須地区広域で運営しており、施設の長寿命化を図るという観点から設備の修繕を行っております。

○市営バスの路線追加について

《ご回答》 地域の交通に関しては、地域の実情にあった交通手段を行政と事業者と市民が連携して育てていくものと考えています。バス・デマンドに限らず様々な手段、NPO やボランティアによる運営など地域に合った形態を検討していくためにも、生の声が一番重要となりますので、生活環境課までご意見をいただきたい。